

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 7月30日更新

事務事業名		鍼灸費助成事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸		所属部	健康福祉部
	施策	6	健康づくりの推進		所属課	健康ほけん課
	業務分野	21	病気になるらない生活習慣の確立		所属班	保険年金班 (内線) 1188
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	一般	3	1	13	11800	合志市後期高齢者はり・きゆう施術利用規則
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ~ 4 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	後期高齢者医療保険被保険者あたり年間30枚を限度とし、申請に基づき交付する事業である。合志市指定施術所のみ対象となり、1回当たり1,000円補助する。保健事業の一つとして、平成20年度より実施している。
【業務の流れ】	被保険者が申請し、過去の交付実績や保険料納付状況を調べ利用券を印刷し交付する。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

申請者に補助券を交付し、指定施術所からの請求に応じ支払いを行った。

令和6年度実績1,792件

【基準に達しなかった理由】後期高齢者の増加に伴い、はりきゆう券利用者の増を見込んでいたが、想定ほどの伸びはなかったため。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

前年度と同様。

③予算の主な増減の理由

鍼灸券台紙を隔年で作成しており、作成年にあたるため印刷製本費の増、被保険者数の増に伴う負担金の増

成果指標

ア 鍼灸券使用枚数

(単位)

枚

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	枚	1,172	1,080	1,460	1,716	1,480	1,500	1,520	0
イ									
ウ									
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
一般財源	千円	1,220	1,115	1,380	1,792	1,332	1,381	1,332	1,381
(A) 事業費計	千円	1,220	1,115	1,380	1,792	1,332	1,381	1,332	1,381

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

利用券の発行・施術所への支払いを問題なく処理できた。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)